【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成29年7月27日(2017.7.27)

【公表番号】特表2016-528185(P2016-528185A)
【公表日】平成28年9月15日(2016.9.15)
【年通号数】公開・登録公報2016-055
【出願番号】特願2016-521554(P2016-521554)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　45/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/04　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　45/06　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　38/00　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/166　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/275　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/341　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/18　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　31/17　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　39/395　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　11/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　19/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　9/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　29/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/18　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　19/02　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　1/04　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　9/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　17/06　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　25/00　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　3/10　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　1/16　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　31/06　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　37/06　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/04　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/14　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/44　(2017.01)
Ａ６１Ｋ　47/12　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/32　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/34　(2017.01)
Ａ６１Ｋ　47/10　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/18　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　9/08　(2006.01)
Ａ６１Ｐ　35/00　(2006.01)
Ｃ０７Ｋ　16/28　(2006.01)
Ｃ１２Ｑ　1/68　(2006.01)
Ｃ１２Ｎ　15/09　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　33/68　(2006.01)
Ｇ０１Ｎ　33/50　(2006.01)
【ＦＩ】

Ａ６１Ｋ	45/00	ＺＮＡ	
Ａ６１Ｐ	31/04		
Ａ６１Ｋ	45/06		
Ａ６１Ｋ	37/02		
Ａ６１Ｋ	31/166		
Ａ６１Ｋ	31/275		
Ａ６１Ｋ	31/341		
Ａ６１Ｋ	31/18		
Ａ６１Ｋ	31/17		
Ａ６１Ｋ	39/395		Ｄ
Ａ６１Ｋ	39/395		Ｎ
Ａ６１Ｐ	17/02		
Ａ６１Ｐ	11/00		
Ａ６１Ｐ	19/00		
Ａ６１Ｐ	9/00		
Ａ６１Ｐ	29/00		
Ａ６１Ｐ	31/18		
Ａ６１Ｐ	19/02		
Ａ６１Ｐ	1/04		
Ａ６１Ｐ	9/10		
Ａ６１Ｐ	17/06		
Ａ６１Ｐ	25/00		
Ａ６１Ｐ	3/10		
Ａ６１Ｐ	1/16		
Ａ６１Ｐ	31/06		
Ａ６１Ｐ	37/06		
Ａ６１Ｐ	35/04		
Ａ６１Ｋ	47/14		
Ａ６１Ｋ	47/44		
Ａ６１Ｋ	47/12		
Ａ６１Ｋ	47/32		
Ａ６１Ｋ	47/34		
Ａ６１Ｋ	47/10		
Ａ６１Ｋ	47/18		
Ａ６１Ｋ	9/08		
Ａ６１Ｐ	35/00		
Ｃ０７Ｋ	16/28		
Ｃ１２Ｑ	1/68		Ａ
Ｃ１２Ｎ	15/00		Ａ
Ｇ０１Ｎ	33/68		
Ｇ０１Ｎ	33/50		Ｐ

【手続補正書】
【提出日】平成29年6月13日(2017.6.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】

【請求項１】
ロイコシジンE（LukE）の領域内の、SEQ ID NO:4のアミノ酸残基番号182～196に対応するエピトープに結合する、単離されたLukE抗体、またはその抗体結合断片。
【請求項２】
γ溶血素A（HlgA）の領域内の、SEQ ID NO:6のアミノ酸残基番号180～192に対応するエピトープに結合する、単離されたHlgA抗体、またはその抗体結合断片。
【請求項３】
前記抗体結合断片が、単一の可変V_Hドメイン、単一の可変V_Lドメイン、Fab断片、または一本鎖抗体断片を含む、請求項1または2記載の単離された抗体。
【請求項４】
CXCR1およびCXCR2との黄色ブドウ球菌の相互作用を阻害する組成物を含む、黄色ブドウ球菌感染を有する対象または黄色ブドウ球菌感染を有する危険性がある対象において、黄色ブドウ球菌感染および/または黄色ブドウ球菌感染から生じる状態を予防または処置するための医薬。
【請求項５】
前記組成物が、SEQ ID NO:4のアミノ酸残基番号182～196に対応するアミノ酸配列を含む組み換えペプチドを含む、請求項4記載の医薬。
【請求項６】
前記組成物が、SEQ ID NO:6のアミノ酸残基番号180～192に対応するアミノ酸配列を含む組み換えペプチドを含む、請求項4記載の医薬。
【請求項７】
前記組成物が、黄色ブドウ球菌ロイコシジンE (LukE)のエピトープに結合する抗体またはその抗体結合部分を含み、該エピトープが、LukEの領域内にあり、SEQ ID NO:4のアミノ酸残基番号182～196に対応する、請求項4記載の医薬。
【請求項８】
前記組成物が、黄色ブドウ球菌γ溶血素A (HlgA)のエピトープに結合する抗体またはその抗体結合部分を含み、該エピトープが、HlgAの領域内にあり、SEQ ID NO:6のアミノ酸残基番号180～192に対応する、請求項4記載の医薬。
【請求項９】
ダッフィ抗原ケモカイン受容体(Duffy antigen receptor for chemokines, DARC)との黄色ブドウ球菌の相互作用を阻害する組成物を含む、黄色ブドウ球菌感染を有する対象または黄色ブドウ球菌感染を有する危険性がある対象において、黄色ブドウ球菌感染および/または黄色ブドウ球菌感染から生じる状態を予防または処置するための医薬。
【請求項１０】
前記組成物がDARC遮断抗体を含む、請求項9記載の医薬。
【請求項１１】
抗感染剤、抗生剤、および抗菌剤からなる群より選択される薬剤と組み合わせて使用される、請求項4または9記載の医薬。
【請求項１２】
黄色ブドウ球菌感染から生じる状態が、皮膚創傷および感染、組織膿瘍、毛包炎、骨髄炎、肺炎、熱傷様皮膚症候群、敗血症、化膿性関節炎、心筋炎、心内膜炎、ならびに毒素性ショック症候群からなる群より選択される、請求項4または9記載の医薬。
【請求項１３】
黄色ブドウ球菌感染および/または黄色ブドウ球菌感染から生じる状態を予防するための請求項4または9記載の医薬。
【請求項１４】
黄色ブドウ球菌感染および/または黄色ブドウ球菌感染から生じる状態を処置するための請求項4または9記載の医薬。